

令和2年度 徳島発！スマート予算事業

徳島は宣言する
VS東京

～ゼロ予算で切り拓く 未知の世界～

徳島発！スマート予算事業

令和2年度当初予算5,057億円に加え、徳島ならではの「第2の予算」として、施策の推進には予算が伴うという「固定観念」から脱却する「ゼロ予算の理念」のもとに、「未知の世界」を創意工夫により切り拓く事業

これまで

H19～ とくしま“トクトク”事業

H27～ とくしま“実になる”事業(6区分)

H22～ 実証実験・モデル事業(2区分)

H23～ 歳出の中から歳入を生み出す取組み(1区分)

統合

新たな枠組み R元～

R元

- ◆ 「徳島発！スマート予算事業」を創設
- ⇒ 従来の9区分を「6区分」に統合し、「新たな3本柱」で構成
- ⇒ 「未知の世界」を切り拓く【全280事業】

充実・進化

R2

- ⇒ 職員の創意工夫で「ローカル5G」等の新未来技術を駆使
- ⇒ 「Society 5.0」を創造する【全284事業】(前年度比+4事業)

I 進化する！「ゼロ予算」事業

【主な事例】

- ⑧ 消費者から広げるジェネリック医薬品使用促進啓発事業
- ～職員による率先活動～



【駅前での啓発活動】

1 ゼロ予算事業 94事業

行政サービスの提供には必ず予算を伴うとの考え方から脱却し、「県職員の活動こそが最大の行政サービス」として、知恵を絞り、工夫を凝らして施策を効率的に推進する事業

2 県民協働・スポンサー事業 62事業

県民の皆様の積極的な参加や、スポンサーとしてのご支援により、県民の皆様と行政、県民の皆様同士が互いに協働し、施策をより効果的に推進する事業

II 展開する！「価値創造」事業

【主な事例】

- ⑧ とくしま旧道敷利活用モデル事業
- ～南阿波サンライン旧料金所の新活用～



【サイクルオアシスとして活用】

3 既存・リタイアインフラ価値創造事業 16事業

「既存ストック」や既に役割を終えた「リタイアインフラ」の新次元の活用により、新たな価値を創造し、県民の多様なニーズに対応する事業

4 歳出の中から歳入を生み出す取組み 43事業

戦略的な先行投資や政策創造などにより、「経済波及効果」や「将来コスト軽減効果」を最大限引き出し、将来にわたる新たな財源の確保を図る事業

III 先導する！「未知挑戦」事業

【主な事例】

- ⑧ 5G遠隔診療・遠隔診断事業
- ～新たな技術を活用した地域医療の確保・充実～



【遠隔医療のイメージ】

5 実証実験・モデル事業 43事業

政策による効果が明らかにされていない「未知の分野」において、「実証実験」や「モデル事業」に挑戦し、新たな事業構築や効果的な手法の普及を図るための事業

6 新未来実装事業 26事業

「実証実験」「モデル事業」で得た成果を本格実装し、県民の皆様にも効果を実感していただくとともに、その効果・手法を全国に向けて発信していく事業

I 進化する！「ゼロ予算」事業

徳島は宣言する
VS東京

施策の推進には予算を伴うという「固定観念」から脱却するとともに、県民参加のもと、施策を効果的に実施するため、「ゼロ予算事業」、「県民協働・スポンサー事業」からなる「進化する！『ゼロ予算』事業」をより強力に展開する。

1 ゼロ予算事業 94事業

行政サービスの提供には必ず予算を伴うとの考え方から脱却し、「県職員の活動こそが最大の行政サービス」として、知恵を絞り、工夫を凝らして施策を効率的に推進する事業。

【代表事例】

①消費者から広げるジェネリック医薬品使用促進啓発事業

ジェネリック医薬品の使用割合を向上させるため、全世代の人たちに安心してジェネリック医薬品を使用してもらうため、消費者まつりなどの幅広い世代を集客するイベントやSNSを活用し、ジェネリック医薬品の広報周知啓発を行う。

○動物愛護ボランティア育成・協働事業

地域に根ざした動物愛護及び適正な飼育を推進するため、地域で活動するボランティアの人材確保や育成を図り、行政と民間とが一体となって啓発活動を実施し、人と動物が共生できる豊かな地域社会を目指す。

①スマート治山施設維持管理事業

治山施設の維持管理を行うため、職員がドローン等を活用し、きめ細かく施設点検を行うとともに、山地防災キャンペーン期間中には、地域住民や市町職員、山地防災ヘルパーと協力し、地域に密着した山地防災パトロールを実施する。

【動物愛護ボランティア活動】



県職員の知恵と工夫で
施策を充実！

2 県民協働・スポンサー事業 62事業

県民の皆様の積極的な参加や、スポンサーとしてのご支援により、県民の皆様と行政、県民の皆様同士が互いに協働し、施策をより効果的に推進する事業。

【代表事例】

①みんなが主役！「徳島版SDGs」全県展開事業

「徳島版SDGsの実装」を推進するため、民間団体主導による全県での普及啓発の展開を図るとともに、若者との対話集会「新未来セッションNEO」において、地域や自らのSDGs実践に向けた多様な取組みを促進する。

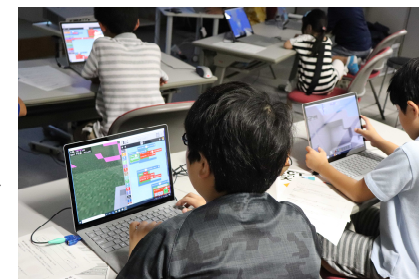
①エシカル消費で脱炭素へ！県民運動推進事業

県民総活躍で「脱炭素社会の実現」を加速させるため、「徳島県地球環境を守る日」の普及啓発などにおいて、多様な主体との連携により「環境」と「消費」を統合した県民運動へとつなげる啓発を実施するとともに、「エコみらいとくしま」においても「環境学習・教育」等を展開する。

○「ICT（愛して）まなびプロジェクト」事業

将来のICT人材を育成するため、ICT企業などとタイアップし、子どもでも楽しめる体験型のICT機器に触れる機会を創出するため、プログラミング講座を実施する。

【ICT企業によるプログラミング講座】



県民の皆様の参加とご支援で
行政サービスを向上！

Ⅱ 展開する！「価値創造」事業

徳島は宣言する
VS東京

新次元の活用により、新たな価値を創造する「既存・リタイアインフラ価値創造事業」及び「歳出の中から歳入を生み出す取組み」の展開を通じ、持続可能な社会の実現を図る。

3 既存・リタイアインフラ価値創造事業 16事業

「既存ストック」や既に役割を終えた「リタイアインフラ」の新次元の活用により、新たな価値を創造し、県民の多様なニーズに対応する事業。

【代表事例】

⑧とくしま旧道敷利活用モデル事業

「旧道敷」等既存ストックの新たな価値を創造するため、「南阿波サンライン旧料金所跡地」を「サイクルオアシス」として活用し、旧道敷の利活用モデルを構築する。

⑨「徳島 木のおもちゃ美術館(仮称)」整備推進事業

木育の推進による県産材の利用促進や普及啓発を図るため、「あすたむらんど徳島・四季彩館」をリノベーションし、「徳島の木」がもたらす魅力を「まるごと体感」できる「木のおもちゃ美術館(仮称)」の整備を推進する。

⑩アスティとくしまスマートリノベーション事業

「アスティとくしま」の機能強化を図るため、「ふれあい広場」を改修し、会議室を設けるとともに、男女共同参画交流センター移転後の空きスペースを活用して、企業誘致を推進する。

【徳島 木のおもちゃ美術館(仮称)】

(イメージ)



「リタイアインフラ」等の有効活用により、多様なニーズに対応！

4 歳出の中から歳入を生み出す取組み 43事業

戦略的な先行投資や政策創造などにより、「経済波及効果」や「将来コスト軽減効果」を最大限引き出し、将来にわたる新たな財源の確保を図る事業。

【代表事例】

○クリエイティブ産業育成事業のうち、⑧「マチ★アソビ」LEDデジタルアート事業

若者のデジタル技術への興味や関心を醸成するとともに、にぎわいの創出と夜間の消費拡大を図るため、日本を代表するアニメイベント「マチ★アソビ」の機会を捉え、プロジェクションマッピングを活用したイベントなどを実施する。

○情報通信関連事業立地促進補助事業のうち、⑧Society5.0関連技術研究開発事業の創設

Society5.0への対応を促進するため、新たに「AI、IoT、5G、RPA、ロボット」の研究開発事業を対象とする助成メニューを創設し、関連企業の本県への誘致を推進する。

⑧宿泊施設投資促進事業、宿泊施設リノベーション支援事業

宿泊者数や観光消費額の増加による地域経済の活性化を図るため、県内宿泊施設の新增設や既存宿泊施設のリノベーションなどに対して支援し、県内における宿泊施設への投資を促進する。

【マチ★アソビ】



戦略的な先行投資等により、将来にわたる新たな財源を確保！

Ⅲ 先導する！「未知挑戦」事業

徳島は宣言する
VS東京

まずはチャレンジと、一步先の未来を具現化する「実証実験・モデル事業」、及びその成果をスピード感をもって実装する「新未来実装事業」により、地方創生の旗手・徳島が「未知の世界」への挑戦を先導する。

5 実証実験・モデル事業 43事業

政策による効果が明らかにされていない「未知の分野」において、「実証実験」や「モデル事業」に挑戦し、新たな事業構築や効果的な手法の普及を図るための事業

【代表事例】

㊦「AI」活用災害対応力強化モデル事業

市町村における災害対応力の強化を図るため、消防団ネットワークを活用し、各団員が「SNS発信」した災害情報等を「AI分析」し、避難指示等の情報発信や避難誘導、救助活動等に活用する新たな防災手法を検証する。

㊦分身ロボット！！難病患者社会参加促進事業

移動に制約のある難病患者等が自宅や病院にしながらイベントや会議、学校の授業・課外活動などへ参加できる社会をつくるため、遠隔操作が可能な「コミュニケーションロボット」を活用した新たな社会参加手法の検証を行う。

㊦新たな「海上交通」実証運航事業

「2025大阪・関西万博」を展望し、今後さらに増加が見込まれるインバウンド需要を取り込むため、関西から本県へのアクセス向上を目指し、関西国際空港等と本県を結ぶ新たな「海上交通」の実証運航を行う。

【コミュニケーションロボット】



新たな事業構築や
効果的な手法を獲得！

6 新未来実装事業 26事業

「実証実験」「モデル事業」で得た成果を本格実装し、県民の皆様にも効果を実感していただくとともに、その効果・手法を全国に先駆けて発信していく事業

【代表事例】

㊦5G遠隔診療・遠隔診断事業

へき地にある病院における専門医療の提供や、専門医の指導による若手医師の育成等により地域医療のさらなる発展を図るため、「5G」を活用した4K高精細映像・画像の伝送による「病院間リアルタイム遠隔診療・遠隔診断」等の実装に取り組む。

㊦「地方発！水素社会」普及促進事業

東京オリ・パラを契機とした水素エネルギーの普及拡大を更に加速させるため、「水素モビリティ導入補助制度の創設」により「燃料電池バス」の社会実装を図るとともに、水素ビジネスフォーラムの開催などに取り組む。

○DMV導入促進事業

「持続可能な鉄道」を目指す阿佐東線の取組みを支援するため、車両自体が観光資源であり、線路と道路の両方を走れる「デュアル・モード・ビークル(DMV)」の導入を促進し、2020年度からの本格実装を図る。

【DMV】



成果を本格実装！
全国に先駆け発信！